児童に見られるつまずき

　自分の考えが明確になるように、考えと理由を整理して書くことができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　１つの絵文字を１つ１つのパーツに分けたワークシートを用意し、それぞれが何を表しているか考えさせることで、多様な視点で考え、その理由を整理して書けるようにする

指導事例集ｐ．６３

１　学年：・単元名　　第３学年　理由が分かるように書こう

『理由が分かるように書こう』（書くこと領域）

２　単元目標

自分で絵文字を考え、その考えと理由を整理して順序立てて説明する文章を書く。

３　説明の内容

・自分で絵文字を考えて、それを説明する文章を書くという単元のめあてを持つ。

・自分の考えを理由付けて順序立てて説明する書き方について学習する。

資料：ワークシート①

記入済みワークシート

・絵文字を考え、説明する文章を書く。

資料：ワークシート②

・文章を交流し、単元を振り返る。

４　本時の目標

　　自分の考えた絵文字をパーツに分け、それぞれ何を表しているかの説明を書くことができる。

５　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点と☆評価**太字：つまずきに対する手立て** |
| １．学習課題を確認する。自分の考えた絵文字について、何を表しているのか説明を書こう。２．何を表す絵文字か考えて書き、交流する。３．自分の絵文字をパーツに分けて表し、意味づけを考えて書く。４．学習のまとめをする。 | ・多様な視点で理由が書けるようにすることで、自分で絵文字を考えて説明する文章を書く準備をすることを確認する。**・１つの絵文字を１つ１つのパーツに分けたワークシートを用意することで、多様な視点で考え、その理由を整理して書けるようにする。**・１つのパーツに対してさまざまな考えがあることに気づかせ、自分たちで絵文字を書く際に役立てるようにする。ワークシート①使用記入済みワークシート参照・理由を書くときには「～からです。」という文末表現を使うようにさせる。・**自分の考えた絵文字を１つ１つのパーツに分けて、それぞれが何を表しているか考えさせることで、次時に順序立てて説明の文章を書くときの手立てとする。**ワークシート②使用・絵文字が複雑にならないよう、多くても３つのパーツから構成させる。☆自分の考えた絵文字をパーツに分けて表し、何を表しているかの説明を書くことができる。・本時の学習を振り返らせる。・次時の予告をする。 |

６　つまずきの解消に向けて

1. 単元における予想されるつまずき
	1. 本単元内のつまずき

・自分の考えた絵文字について、何を表す絵文字か意味づけをして書くこと。

・接続詞や文末表現など、表現の工夫を適切に使い、順序立てて説明を書くこと。

* 1. これまでのつまずき

・自分の考えを明確にして書くこと。

・文章構成を考えて書くこと。

1. つまずき解消に向けた指導上の留意点

・多様な視点で理由が書けるよう、絵文字をパーツに分けて、意味付けを考えさせ

る。

・「はじめ」「中」「終わり」のまとまり、理由や順序を表す接続詞、考えと理由を書く

　ときの文末表現など、表現の工夫を話し合って見つけ出させる。